

(端裏書)

「大谷九右衛門殿 牛尾金右衛門」

只今手紙を以申入候所

氣色不快にて此方へ

御出成不申明朝<sub>者</sub>

可罷参由令承知候

かの江戸

御目見之手筈

月日其品被相蒙候

御役人之次第今日

入用之義<sub>ニ而</sub>申入候

貴殿不被参候ハ、書付

<sub>ニ而</sub>も御差越可有之候

夫共今晚成不

申候ハ、明日<sub>ニ而</sub>も御持参

可有之候、同じくならハ

只今入用<sub>ニ候</sub>へとも

とやかく申内はや

及答可申候、一向何日

<sub>ニても</sub>一兩日過候<sub>而も</sub>

宜有之候、以上

十月廿六日